

発議第 19 号

新型コロナウイルスワクチン数量の要望に対して確実なる供給を  
求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第2項の規  
定により提出します。

令和3年10月5日提出

提出者

議会運営副委員長 齊藤 真理

## 新型コロナウイルスワクチン数量の要望に対して確実なる供給を求める意見書

本市は医療従事者への優先接種を経て、令和3年5月からは80歳以上の高齢者への接種を開始し、接種対象年齢を段階的に引き下げながら、現在では全世代へのワクチン接種が行われている。しかしながらワクチン接種が実施開始されている今もなお新型コロナウイルス感染症の猛威は止まらず、感染者数は増加の一途である。

その要因として全国的なワクチン不足により、現在、接種を希望する多くの市民がワクチン接種できていない状態にある。そのため東京都や千葉県など首都圏4都県では自宅療養中に死亡する若年層が多数報告されており、千葉県柏市では、妊婦の入院先が見つからず早産し、新生児が死亡するという痛ましい事故まで起きた。医療現場がひっ迫している中で、今後も同じような事故が起きる可能性は否定できず、今まで以上に危機感を持って取り組む必要がある。

国は「全国民の接種完了を10～11月までの早い時期」を目標にしている。しかし、自治体が希望するワクチンの数量に対して、おおよそ4割程度の供給しかなされていないことからワクチンの供給について確実かつ速やかに実施することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年10月5日

衆議院議長	様
参議院議長	様
内閣総理大臣	様
財務大臣	様
厚生労働大臣	様
行政改革担当大臣	様
経済再生担当大臣	様

千葉県流山市議会